



平成21年6月26日  
内閣府沖縄担当部局

## 「アジア青年の家2009」参加者について

「アジア青年の家」は、共生の精神とイノベーションを起こす力を育むことを目的に、昨年度から開始した事業です（参考1）。

第2回となる本年度は、8月5日（水）から24日（月）までの約3週間にわたって、沖縄県内の各地を舞台に、「水」に関する環境問題をテーマに、様々な講義・体験学習、参加者によるディスカッションなどを行う予定です（参考2）。

本年度の参加者につきましては、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします（詳細は別紙参照）。

### 記

- 1 国内の参加者については、本年3月より公募を行い、応募者の中から厳正な選考の結果、沖縄県14名、沖縄県外28名の計42名の参加者を決定。
- 2 海外からの参加者については、アジア15か国から、計35名の参加者を決定。

	応募人数	選考結果
沖縄県以外	76名	28名
沖縄県	20名	14名
アジア各国（*1）	－（*2）	35名

\*1 アジア各国の内訳は、ASEAN加盟国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア）、中国、韓国、インド、オーストラリア及びニュージーランドの計15か国。

\*2 アジア各国からの参加者は、各国の教育担当省等からの推薦に基づき選考。

お問合せ先：

内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付  
「アジア青年の家」推進室 久保、木村

Tel：03-3581-0993

Fax：03-3581-9719

## 「アジア青年の家」について

長期戦略指針「イノベーション25」（平成19年6月1日閣議決定）において、中高生のアジアの仲間との交流を促進するための日本とアジアの青年の交流の構想について提唱された。これを受けて、「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」（座長：黒川清氏）を開催し、本構想につき議論していただき、平成19年8月に報告書を取りまとめた。

ここにおいて、本構想は、共生の精神とイノベティブマインドを育むための構想とされた。

（参考）長期戦略指針「イノベーション25」（抜粋）

（平成19年6月1日閣議決定）

### 第5章 「イノベーション立国」に向けた政策ロードマップ

#### 1. 社会システムの改革戦略

##### (1) 早急に取り組むべき課題

##### 2) 次世代投資の充実と強化

##### ③多様性を受け入れ、出る杭となる「人」づくり

##### ・若者の海外交流の充実

異なる文化、生活、習慣をもつ同年代の若者との交流活動は、異文化を直接体験し、国際理解を深め、国際性を養うことから、多様性を受入れ、出る杭となる「人」づくりにとって重要であり、若いときからの国際交流を経験する観点から、以下の取組を行う。

（略）

－中学生、高校生のアジアの仲間との交流を促進するためのプログラムの早期検討（「アジア青年の家」構想等）。

## 「アジア青年の家2009」プログラム構成

	主なプログラム	場所
8月5日	・開会式(基調講演等)、レセプション	沖縄コンベンションセンター (宜野湾市)
第1セッション 8月5日～9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化に関する講義</li> <li>・世界の水問題に関する講義</li> <li>・水問題への取組に関する講義</li> <li>・地下ダム見学</li> <li>・沖縄体験(首里城・平和祈念資料館など)</li> </ul>	糸満市
第2セッション 8月9日～13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴ礁に関する講義</li> <li>・海浜清掃活動・漂着ゴミ実態調査</li> <li>・シュノーケリング・海洋体験</li> </ul>	渡嘉敷村
8月13日～15日	・民泊 (沖縄の文化・習慣の体験)	伊江村
第3セッション 8月15日～18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汽水域の生態系保全・再生に関する講義</li> <li>・企業の取組(海水淡水化)に関する講義</li> <li>・浄水場・海水淡水化センター施設見学</li> </ul>	宜野座村
第4セッション 8月19日～23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーションに関する講義</li> <li>・国際機関を通じた社会貢献に関する講義</li> </ul>	
	・「環境問題に触れ、科学技術の素晴らしさを語り合うオープンセミナー」(22、23日)	那覇市
8月24日	・閉会式(基調講演、成果発表等)、レセプション	万国津梁館 (名護市)

## 「アジア青年の家2009」参加者在学校名等一覧(沖縄県以外在住者)

	在学校名	学年	性別	学校所在地
1	私立清真学園中学校	中3	女	茨城県
2	私立明の星学園浦和明の星女子高等学校	高2	女	埼玉県
3	県立成田国際高等学校	高1	女	千葉県
4	私立神田女学園高等学校	高2	女	東京都
5	筑波大学附属駒場高等学校	高1	男	東京都
6	私立桐朋高等学校	高2	男	東京都
7	私立工学院大学附属高等学校	高2	女	東京都
8	私立実践女子学園高等学校	高1	女	東京都
9	私立学習院高等科	高2	男	東京都
10	私立トキワ松学園高等学校	高2	女	東京都
11	私立横浜雙葉高等学校	高1	女	神奈川県
12	私立山梨英和高等学校	高2	女	山梨県
13	県立多治見北高等学校	高2	男	岐阜県
14	名古屋大学教育学部附属高等学校	高1	女	愛知県
15	名古屋市立菊里高等学校	高1	女	愛知県
16	名古屋市立向陽高等学校	高1	男	愛知県
17	愛知教育大学附属高等学校	高2	男	愛知県
18	私立高田学苑高田高等学校	高1	男	三重県
19	私立立命館守山高等学校	高2	女	滋賀県
20	県立膳所高等学校	高2	女	滋賀県
21	京都市立西京高等学校	高1	女	京都府
22	私立大阪薫英女学院高等学校	高2	女	大阪府
23	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	高1	女	大阪府
24	奈良女子大学附属中等教育学校	高1	女	奈良県
25	県立広島国泰寺高等学校	高2	男	広島県
26	県立伊万里高等学校	高2	女	佐賀県
27	県立豊玉高等学校	高2	男	長崎県
28	県立大島北高等学校	高2	女	鹿児島県

計28名(男:9名、女:19名)

「アジア青年の家2009」参加者在学校名等一覧(沖縄県在住者)

	在学学校名	学年	性別
1	県立普天間高校	高2	女
2	県立那覇国際高等学校	高2	女
3	県立那覇国際高等学校	高2	女
4	県立那覇国際高等学校	高2	女
5	県立那覇国際高等学校	高1	女
6	県立那覇国際高等学校	高2	女
7	県立開邦高等学校	高2	男
8	県立開邦高等学校	高2	女
9	私立沖縄尚学高等学校	高2	男
10	私立沖縄尚学高等学校	高1	男
11	県立向陽高等学校	高1	男
12	県立向陽高等学校	高2	女
13	県立向陽高等学校	高1	女
14	県立向陽高等学校	高2	女

計14名(男:4名、女:10名)

## 「アジア青年の家2009」参加国等一覧

国名	男	女
インド	1	1
インドネシア共和国	2	1
オーストラリア連邦	2	0
カンボジア王国	1	1
シンガポール共和国	1	2
タイ王国	1	1
大韓民国	1	1
中華人民共和国	1	2
ニュージーランド	1	2
フィリピン共和国	1	1
ブルネイ・ダルサラーム国	1	1
ベトナム社会主義共和国	1	1
マレーシア	2	1
ミャンマー連邦	1	1
ラオス人民民主共和国	1	1

計35名(男:18名、女:17名)